

最新オーディオ技術&オーディオ機器の製作

CDレビュー / Hi-Fi追求リスニングルームの夢

オーディオ総合月刊誌
無線と実験

MAY 2022
No.1191
SINCE 1924

05

AUDIO TECHNOLOGY



特集

プリアンプと その活きた使い方

自作
オーディオ機器
ラインアップ

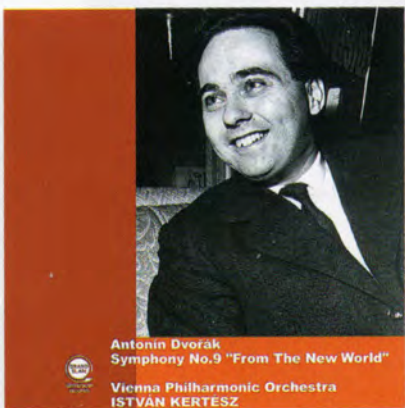
オリジナル・サウンドシステムの製作

MCTランス&出力ランス付きCR型真空管イコライザーアンプ

トーンコントロール+エキスパンダー付き真空管ラインアンプ

VT-52シングル3Wパワーアンプ/417A&6P1ハイブリッドハイパワーアンプ

小型スピーカーの設計と製作 / ピアレスのユニットを使った小型2ウェイの製作



『ドヴォルザーク交響曲
第9番「新世界より」』
グランドスラム
GS2249

帯域バランスの整った 中庸なサウンド

アナログ全盛期の業務用機器を思わせる外観のプリメインアンプだけに、時代の先端をゆくアンプのような超ワイドレンジやS/Nの高さを強調することがなく、帯域バランスの整った中庸なサウンドを聴かせるのが好ましい。『新世界より』はアナログマスターならではの再生帯域内での密度の高さを感じさせる充実感のあるサウンドが聴ける。そして弦楽器群などアコースティック楽器の響きをナチュラルに蘇らせてくれた。また、ティンパニの打撃音などもリアルに表現され、トゥツティも臨場感に溢れたサウンドが聴ける。『ジュビレーション』はバップ系ジャズらしい躍動感のあるサウンドで、2本のトロンボーンを生々しい響きが聴ける。そして、低音部は管の鳴りがリアルで温もりがあり、著名スタンダード曲のオリジナルメロディが脳裏に浮かぶ。ピアノも一音一音のタッチが明快で、アドリブフレーズは適度なメリハリがあり、ジャズらしい快活なプレイが楽しめる。少量生産の独立系ブランドゆえに、いくぶん高価という印象を受けるが、個性的な意匠に惹かれるファンも多いだろう。

(小林 貢)



『モンテヴェルディ
マドリガーレ集第7巻』
アルテ・デラルコ
ADJ-063

トゥツティのフォルテを 歪みなく描き上げる

S/Nの高さが際立っている。背景が大変静かで音に汚れっぽさがなく、また緻密な質感を備えていることも特質と言っていい。バロックでは古楽器の潇洒な感触が潤いの豊かな響きが描かれ、楽器ひとつひとつが精密に捉えられている印象である。

ノイズが少ないのと同時に歪みも少ないようで、ピアノではタッチの輪郭がにじまず明瞭で濁りのない肉質感を引き出している。歯切れのいい鳴り方で、立ち上がりも速い。低音部の和音やオクターブもしっかりと把握されているが、水膨れした響きは出てこない。ただ量感をもっとあっても不都合はないので、思い切って鳴らしてもよさそうだ。スピーカーに対する制動力に関係するのかもしれない。

室内楽も切れのいい出方で、解像度もしっかりと取れている。純度の高い再現性がある。これで明らかだ。またオーケストラも混濁がなく、トゥツティのフォルテを歪みなく描き上げる。明快で透明度に優れているところでは本領が発揮された感触である。

(井上千岳)